

令和 6 年度

事 業 報 告

公益財団法人 滋賀県文化財保護協会

目 次

令和6年度 事業報告

I. 事業概要	… 1
II. 協会運営	… 1
III. 企画事業	… 3
IV. 埋蔵文化財発掘・整理調査事業	… 6
V. 保存活用事業	… 15
VI. 「県立安土城考古博物館」「県立琵琶湖文化館」および 「県埋蔵文化財センター」の管理運営事業	
「県立安土城考古博物館」	… 16
「県立琵琶湖文化館」	… 21
「県埋蔵文化財センター」	… 25
VII. 文化財保護資金貸付事業および文化財活用資金貸付事業	… 29

令和6年度 事業報告

I. 事業概要

公益財団法人滋賀県文化財保護協会（以下「協会」という。）は、歴史上・学術上価値の高い滋賀県の文化財を調査・研究するとともに、それらを文化資産として保護・活用をはかることによって、我が国の文化の向上に寄与してきた。

発掘調査事業では国土交通省等の国事業に伴う整理調査、県の土木交通部および農政水産部等の公共事業に伴う発掘調査および整理調査に取り組むとともに、市町事業にも積極的に対応するように努め、その発掘調査および整理調査を受託した。

なお、当協会の将来を見据えて、埋蔵文化財技師2名、事務職員1名を採用し、体制の整備を図った。

普及啓発事業では、これまで協会に蓄積された技術職員の経験やノウハウ等を活かして市町等に積極的なマネジメント、運営、広報を行い、併せてウイズコロナ・ポストコロナを見据えて、オンラインの活用の検討等、積極的な情報発信および主体的事業の実施に努めた。

滋賀県立施設管理運営業務では、滋賀県立安土城考古博物館の指定管理業務（令和3年度～令和7年度）を受託し、指定管理計画に基づき、4年目の管理運営事業等を実施した。

なお、今後の学芸課の技術継承を見据え、歴史分野（古文書担当）の学芸課職員1名を採用した。

また、滋賀県立琵琶湖文化館・滋賀県埋蔵文化財センターの業務を受託し、管理運営事業等を実施した。

II. 協会運営

1. 役員会議等の開催

①決算監査	令和6年 5月 20日 (月)
②第1回定例理事会	令和6年 6月 4日 (火)
③定時評議員会	令和6年 6月 21日 (金)
④第1回臨時理事会	令和6年 6月 21日 (金)
⑤第2回定例理事会	令和6年 12月 18日 (水)
⑥第3回定例理事会	令和7年 3月 19日 (水)

2. 管理事務

令和5年3月に策定した『第六次中期計画』（令和5年度～令和9年度）の2

年度にあたる。本計画は、協会の将来を見据えた経営の指針であり、経営に関わる基本計画であるとともにアクションプラン（行動計画）として位置づけるものである。「文化財を通した豊かな滋賀づくりへの貢献」を基本理念にした事業方針を策定し、実現に向けて取り組みを行った。

III 企画事業

市町からの受託により実施してきた地域計画策定支援事業の経験を最大限に活かし、市町や民間事業者、大学等をはじめとする地域の多様な主体との積極的な連携を推進し、必要不可欠なパートナーとして認められていくことを試みた。また、積極的な情報発信事業によって、文化財を通した豊かな滋賀づくりに貢献するとともに、その意味や価値の可視化を目指した。

なお、下記①～⑩の各種事業は、以下の枠組みで実施した。

1. 多様な主体との「つながり」促進事業 ①～⑦
 - 連携の起点創出事業 ①・②
 - 連携事業の実践 ③～⑦
2. 情報発信事業 ⑧～⑩

①「文化財保存活用地域計画」学習会の企画・実施 [中期計画 2-1-(1) 対応]

第1回を守山市と連携して10/25に実施し(参加者23名)、第2回を草津市と連携して11/19に実施した(参加者32名)。参加者の内訳は、県内市町担当者、京都橘大学教員・学生等で、両市の保存活用とその地域計画の実際や課題とともに検討した。総括としての第3回(12/10)を企画・調整した。

②地域の文化財の保存活用事業掘り起こし(年3回) [中期計画 2-3-(1) 対応]

3回を実施。守山・草津・栗東・野洲・近江八幡・多賀の各市町の課題を掘り起こし、上記①の企画・実施および次年度の活用事業の委託予定(草津市1件)に結び付けた。

③市町との連携事業

[中期計画 2-1-(1) 対応]

i) 連続講座のサテライト開催(年8回)

多賀町と連携し、計画通り8回実施した。また、安土城考古博物館でのサテライト開催のうち、休館期間中の6～8月の3回分について、その代替措置として東近江市との連携協力により実施した。

ii) 体験学習等の受託

守山市から、市の文化財保存活用地域計画に基づく事業として、市内周遊デジタルスタンプラリーの作成、SNSによる情報発信、それらを通して後進人材(県内外の大学生16名)の育成を受託した。

草津市から、市の文化財保存活用地域計画に基づく体験学習(石器づくり)を受託し、11/29に実施した(定員8名)。

iii) 栗東歴史民俗博物館における連携展示の実施

協会が栗東市内で実施した高野遺跡・出庭遺跡の調査に関する展示『赤銅と黒鉄—古墳時代～平安時代の金属生産—』を、栗東歴史民俗博物館と共に催した(3/8～5/11予定)。

④シルバー人材センター連合会との連携事業

[中期計画 2-1-(2) 対応]

i) 遺跡発掘技能講習への講師派遣

第1回（10月）・第2回（10・11月）を各6日間で実施し、のべ30名が修了した。

ii) 歴史文化遺産ガイド育成講座（初・中級）の受託

基礎編（7月）・実践編（11・12月）を各6日間で実施し、9名が修了した

⑤滋賀リビング新聞社との連携事業

[中期計画2-1-(2)対応]

i) 滋賀リビングカルチャー倶楽部への出講

浜大津会場で「近江史跡紀行－その時代と背景」をテーマに、4月から3月にかけて毎月2回実施した。受講者のべ281名。

ii) 滋賀リビング新聞への取材協力

4/4に坂本城周辺取材に協力した（5/11号掲載）。5/2に大溝城周辺取材に協力した（9/7号掲載）。

⑥平和堂旅行センターとの連携

[中期計画2-1-(2)対応]

i) 連続講座のサテライト開催（年8回）

計画通り連携し、8回実施した。

ii) 歴史文化遺産ガイド育成講座修了生の企画提案

計画どおり修了生に企画提案を促したが、平和堂の都合で事業見直しとなつた。

⑦大学との連携事業

[中期計画2-1-(3)対応]

i) 調査補助員としての受け入れ

A 5～10月に、3大学（滋賀県立大学・京都橘大学・龍谷大学）の文化財専門職を目指す大学3回生～大学院生8名を調査事業で受け入れた。

B 夏期休暇期間中に、2大学（滋賀県立大学・京都橘大学）の専攻生を、調査事業と活用事業に11名受け入れた。

ii) 大学が実施する教育人材育成での連携

A 専攻生のインターンシップ受け入れ：京都橘大学から3名を受け入れ、埋蔵文化財の調査に関する展示の企画・作成を行った（8/6～10）。

B 高校との3者連携事業：県高校社会科教育研究会から研修を受託した（10/17）。また、県立東大津高校のDX加速推進事業への協力として生徒40名を対象に作業解説を実施する（9/19）とともに、同校新聞部の取材を受け入れた（7/20・9/24）。

C 講義、人材養成事業等講師派遣：京都橘大学歴史遺産学実習を受託した（15コマ）。

D 調査技術等相互研修の実施：滋賀県立大学・京都橘大学から協会連続講座への出講を調整・実施した。

ほか、滋賀県立大学のオープンキャンパスへの協力を実施した（7/20・21）。

また、連携・協力に関する協定書を滋賀県立大学と正式に締結した（3/5）。

⑧ホームページよみものコンテンツの更新

[中期計画3-2-(4)対応]

実施した文化財情報発信事業の内容等をブログ等で発信した。また断続的な形になったが、職員が分担執筆する形で、「調査員の逸品」・「新近江名所図会」・「イ

ンタビュー／私の履歴書」を掲載・更新した。

⑨連続講座の企画実践 [中期計画 1 D-3-(1)・3-2-(2)対応]

調査員が直接携わってきた調査・研究成果をテーマとした講座を 6 月から 1 月にかけて実施した。滋賀県埋蔵文化財センター研修室（33 名）を本会場とし、オンラインでのライブ中継を取り入れ、サテライト会場となる安土城考古博物館（20 名）と関東圏等も含めた自宅受講者（65 名）を繋いで実施した。

また、大学との連携事業として滋賀県立大学と京都橘大学の専攻生（5 名）、市町・民間事業者との連携事業として多賀町文化財センター（13 名前後）ならびに平和堂石山店（10 名前後）にもオンラインで講座を繋いで実施した。

⑩協会の取り組みの外部発信

i) 情報推進委員会の開催 [中期計画 3-1-(1)・(2)対応]

情報発信の推進により事業成果の社会還元を徹底することで、協会の使命である「文化財を通じた豊かな滋賀づくり」の実現と、それによる協会の社会的存在価値向上を目指して 11 月から毎月実施し、内部連携の強化、SNS・ノベルティーの活用等について検討を再開した。

ii) ホームページの管理・運営 [中期計画 3-4-(2)・(3)対応]

令和 4 年度に実施したリニューアル後に必要な微調整・修正を含めた保守のプロセスを実施した。

iii) 文化財行事案内 (DM) 等の発送 [中期計画 3-2-(6)対応]

市町・民間企業主催の事業案内も含め、協会が関係する文化財の事業案内を年 4 回発送した（6 月末、9 月末、12 月末、3 月末）。

iv) 協会事業広報媒体の作成と発信 [中期計画 3-2-(7)対応]

学生向けに作成した協会の紹介パンフレットと協会ホームページに関する案内カードを作成し、文化財専門職を志望する専攻生約 100 名に配布とともに県埋蔵文化財センターにも配置した。

v) 協会事業の動画配信 [中期計画 3-2-(8)対応]

人員不足のために実施できなかった。

vi) 紀要の刊行 [中期計画 1 D-3-(4)対応]

3 月末に 38 号を刊行した。

vii) レトロ・レトロの展覧会 2024 の開催

高野遺跡・出庭遺跡の発掘調査に関する整理作業の情報公開として、『赤銅と黒鉄—古墳時代～平安時代の金属生産—』と題し、県埋蔵文化財センターロビーで、7/22～8/30 に実施した（見学者 289 名）。

viii) あの遺跡は今！Part31 の開催

整理作業の現地説明会として、安土城考古博物館内の安土分室で、10/13・14 に実施した（参加者 474 名）。

IV. 埋蔵文化財発掘・整理調査事業

令和6年度に実施した発掘調査件数は13件（令和5年度：13件）、整理調査は15件（令和5年度：13件）の計28件（令和5年度：26件）である。調査面積は53,078.16m²（令和5年度：58,878.09m²）で、前年度調査面積比90.15%である。

契約件数による事業別では、発掘調査では県土木交通部6件・県農政水産部2件・市町関係5件（守山市4件・豊郷町1件）の事業を実施した。

整理調査では、国土交通省5件、県土木交通部6件、県農政水産部2件、市町関係2件（守山市）の事業を実施した。また、発掘調査報告書（表2参照）については3冊を刊行し、関係機関等へ配布した。

なお、発掘調査・整理調査に係る現地説明会・調査報告会については、令和6年度についても新型コロナウイルス感染症に対する感染防止策を十分に講じたうえで開催した（表1参照）。

1. 発掘調査事業（図1・表3参照）

（1）四十九院遺跡（豊郷町、県土木交通部事業、782.45m²）

安食西八目線補助道路整備事業に伴う調査。室町時代後期の溝跡や室町時代のものとみられる柱穴群を検出し、それらに伴い土器類（土師器・須恵器・陶磁器等）が出土した。

（2）長野遺跡ほか（愛荘町、県土木交通部事業、4,185m²）

神郷彦根線補助道路整備工事に伴う調査。弥生時代後期の竪穴建物3棟、平安時代の井戸や溝に加えて、鎌倉時代の掘立柱建物3棟・井戸6基・溝等の遺構を検出し、当該期の集落が展開することを確認した。併せて、当該期の遺物（弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・陶磁器等）が出土した。

（3）御館前遺跡（近江八幡市、県土木交通部事業、3,386.07m²）

近江八幡竜王線道路整備事業に伴う調査（令和4年度から継続）。今年度の調査対象範囲内で弥生時代後期～古墳時代前期の円形周溝墓1基・方形周溝墓3基、古墳時代の竪穴建物9棟、奈良時代の掘立柱建物14棟・土坑3基・井戸1基等を検出し、それらに伴い土器類（土師器・須恵器等）等が出土した。

（4）林遺跡ほか（栗東市、県土木交通部事業、4,337.67m²）

県道栗東信楽線道路整備事業に伴う調査（令和5年度から継続）。岩畠遺跡においては弥生時代末から古墳時代初頭および鎌倉時代の集落跡を、林遺跡については鎌倉時代の区画溝で囲われた屋敷地跡を、六地蔵遺跡では古墳時代中期から飛鳥時代にかけての集落跡・近世の廃棄土坑を、それぞれ検出した。併せて、各遺跡から当該期の遺物（土師器・陶磁器・瓦・金属製品・石製品）が出土した。

(5) 西河原宮ノ内遺跡ほか（野洲市、県土木交通部事業、7,833 m²）

近江八幡守山線補助道路整備事業に伴う調査（令和4年度から継続）。鎌倉時代～室町時代の溝、奈良時代の溝・柱穴・土坑を検出した。遺物は、鎌倉時代～室町時代の溝から土師器皿や陶器皿等が、奈良時代の溝からは須恵器・土師器が、奈良時代の柱穴からは木製品（斎串）が出土した。

(6) 阿弥陀寺遺跡（近江八幡市、県土木交通部事業、1,966.71 m²）

堂川補助通常砂防工事に伴う調査（令和4年度から継続）。室町時代の石垣や江戸時代の平坦面を検出したほか、当該期の山寺に関連する遺構も検出した。また、土師器・陶磁器・瓦・金属製品・石製品も出土した。

(7) 六地蔵遺跡（栗東市、県農政水産部事業、3,694.66 m²）

県営ほ場整備事業六地蔵地区ほ場整備に伴う調査（令和4年度から継続）。古墳時代中期頃の竪穴建物5基、時期不明の掘立柱建物を1基、古代から中世頃の溝等を多数確認。また、令和5年度に確認した古墳の周囲から、方墳を3基検出した。また、それらに伴い土器や石器・金属器・木製品等が出土した。

(8) 上御殿遺跡（高島市、県農政水産部事業、2,800 m²）

県営農地防災事業（青井川地区）に伴う調査。弥生時代後期の竪穴建物跡7棟や土坑等を検出し、それらの遺構に伴い土器（弥生土器・土師器等）が出土した。

(9) 笠原南遺跡（試掘）（守山市、民間事業地造成事業、8,272 m²）

民間事業地造成事業に伴う試掘調査（令和5年度から継続）。事業対象地全域に1,600余箇所の試掘トレーナーを設定し、遺構・遺物の有無を確認。遺構・遺物の存在が確認された箇所の一部については本発掘調査に移行（笠原南遺跡[その1]）。

(10) 横江遺跡（その3）（守山市、民間事業用地造成事業、11,676.6 m²）

民間事業用地造成事業に伴う調査。弥生時代中期の方形周溝墓や、古墳時代を中心とする溝・土坑・落込状地形等を検出。また、鎌倉時代の掘立柱建物群や区画溝・土坑等も検出した。それらの遺構に伴い土器類（弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・陶磁器等）や木製品（板材・加工材）、石製品（石鏃・砥石等）、金属製品（銭貨・鉄釘等）が出土した。

(11) 八町古墳（豊郷町、送電線建替、144 m²）

高圧送電線建替工事に伴う調査。平安時代前期の掘立柱建物跡や小穴を検出し、それらに伴い土器（土師器・須恵器・灰釉陶器等）が出土した。

(12) 笠原南遺跡（その1）（守山市、民間事業用地造成事業、4,000 m²）

民間事業用地造成事業に伴う調査。古墳時代から平安時代にかけての自然流路や、そこから派生する水路跡等を検出。流路等埋土内からは土器（須恵器・土師器・黒色土器）のほか木製品（杭・舟形・砧等）が出土した。

(13) 横江遺跡（その2）（守山市、民間事業用地造成事業、0 m²）

発掘調査は令和5年度に実施。令和6年度は調査にかかる事務作業のみ執行。

表1 令和6年度 発掘調査に係る現地説明会・調査報告会、報道発表等の開催実績

公開日	参加人数	遺跡名	所在地	公開・発表の方法	場所	備考(対象者等)
6月2日(日)	85人	阿弥陀寺遺跡	近江八幡市	現地説明会	現地	一般
10月12日(土)	85人	御館前遺跡	近江八幡市	現地説明会	現地	一般
12月8日(日)	30人	長野遺跡ほか	愛荘町	成果報告会	長野西公民館	地元
3月2日(日)	15人	横江遺跡	守山市	地元報告会	横江町公民館	地元
説明会 小計 (a)	215人					
7月22日(月) ～ 8月30日(金)	289人	レトロ・レトロの展覧会 2024 高野遺跡の発掘調査 赤銅と黒鉄－古墳時代～平安時代の金属生産－	栗東市	遺物展示	埋蔵文化財センター	一般
10月13日(土)～ 10月14日(日)	474人	あの遺跡は今！Part31 「整理室へようこそ!! 見て触れて感じる考古学」	栗東市・彦根市ほか	遺物展示・作業内容公開	安土城考古博物館 整理室	一般
展示会 小計 (b)	763人					
合計(a+b)	978人					

- (1) 四十九院遺跡
- (2) 長野遺跡ほか
- (3) 御館前遺跡
- (4) 林遺跡ほか
- (5) 西河原宮ノ内遺跡ほか
- (6) 阿弥陀寺遺跡
- (7) 六地蔵遺跡
- (8) 上御殿遺跡
- (9) 笠原南遺跡
- (10) 横江遺跡
- (11) 八町古墳

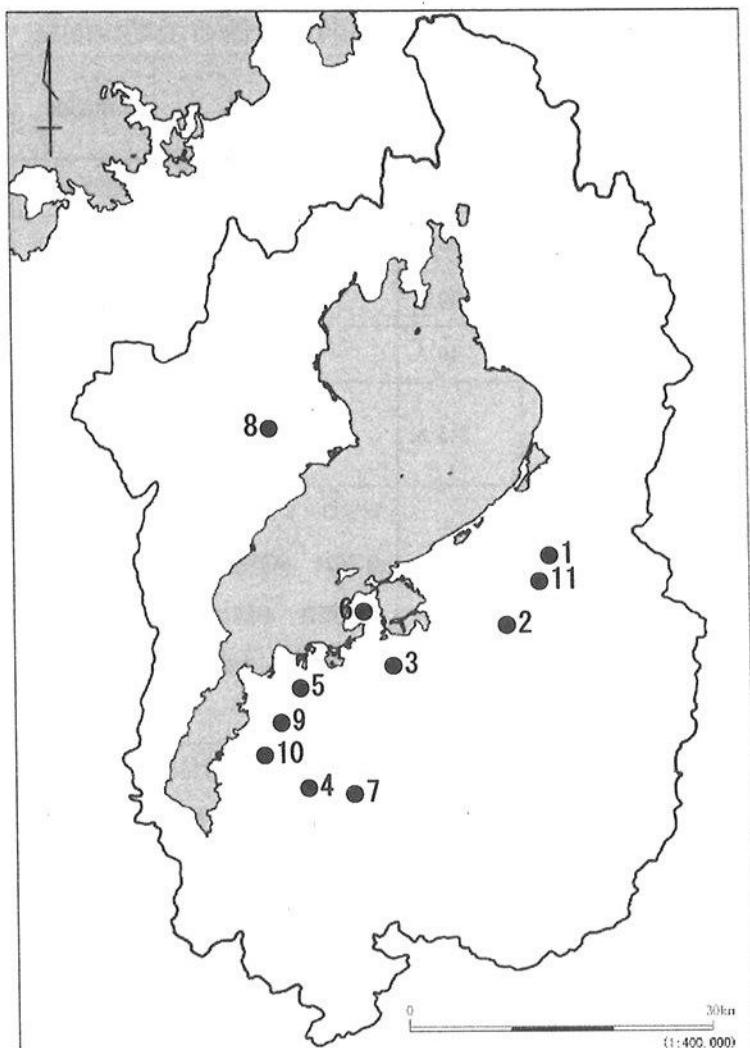


図1 令和6年度発掘調査遺跡の位置

2. 整理調査事業（表3参照）

（1）国土交通省事業

上砥山遺跡、出庭遺跡・手原遺跡、佐和山城跡、塩津港遺跡、惣山・京ヶ山遺跡の整理調査を行った。

（2）県土木交通部事業

朽木陣屋跡・大門池南遺跡・里西遺跡（道路整備課）、福林寺古墳群（砂防課）、江頭南遺跡・蜂屋遺跡（流域政策局）の整理調査を行い、大門池南遺跡・里西遺跡の発掘調査報告書を刊行した。

（3）県農政水産部事業

高野・六地蔵遺跡（耕地課）の整理調査を行った。

（4）市町等事業

横江遺跡その1・その2（ともに守山市）の整理調査を行った。

表2 令和6年度刊行の発掘調査報告書一覧

報告書名	所在地	事業者	内 容
滋賀県文化財保護協会調査報告 第4集 大津市 惣山・京ヶ山遺跡	大津市	国土交通省滋賀国道事務所	昭和55年度に調査が実施されて以来、高地性集落として周知されてきた当該遺跡の調査報告書。 弥生時代後期前葉の複数の竪穴建物で構成される集落を発見し、石器製作の痕跡を確認することができたが、今回の調査で発見した遺構・遺物の面からは、従来「高地性集落」について考えられてきた軍事的性格は見出し難く、その性格については再検討を要する。
滋賀県文化財保護協会調査報告 第5集 犬上郡多賀町 大門池南遺跡	多賀町	県道路整備課	当該遺跡は東大寺領水沼荘比定地に隣接しており、今回検出された遺構から奈良時代から平安時代を主とした土地開発の一端が明らかとなった。錢貨の多量埋納・腰帶具（丸鞆）が出土した墓遺構については、水沼荘との関連から被葬者は地方官人であり、荘園経営に関わる地方有力者の墓である可能性が想定される。
滋賀県文化財保護協会調査報告 第6集 大津市 里西遺跡	大津市	県道路整備課	縄文時代から室町時代にかけて存続した集落遺跡。弥生時代終末期の多角形竪穴建物が検出されるなど、弥生文化の淀川水系下での連関を示唆する遺構が検出された。また、平安時代後期から鎌倉時代にかけては、条里地割に沿って基幹水路を開削し屋敷地を設けていることが判明するなど、当該地域の中世における村落景観を復元するうえで良好な資料となった。

表3 令和6年度 埋蔵文化財調査事業一覧

1. 発掘調査事業

No.	契約番号	遺跡名	調査面積 (m ²)	検出されたおもな遺構と時期
県土木交通部道路整備課事業				
1	606	四十九院遺跡	782.45	室町時代後期の溝跡や室町時代のものとみられる柱穴群を検出し、それらに伴い土器類（土師器・須恵器・陶磁器等）が出土。
2	607	長野遺跡ほか	4,185.00	弥生時代後期の竪穴建物3棟、平安時代の井戸や溝に加えて、鎌倉時代の掘立柱建物3棟・井戸6基・溝等の遺構を検出し、当該期の集落が展開することを確認。併せて、当該期の遺物（弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・陶磁器等）が出土。
3	608	御館前遺跡	3,386.07	弥生時代後期から古墳時代初頭にかけての円形・方形周溝墓群や、古墳時代後期頃の竪穴建物を検出したほか、蒲生郡衙に関連するとみられる奈良時代の掘立柱建物群を検出し、当該期の遺物（弥生土器・土師器・須恵器等）が出土。
4	615	林遺跡ほか	4,337.67	岩畠遺跡においては弥生時代末から古墳時代初頭および鎌倉時代の集落跡、林遺跡については鎌倉時代の区画溝で囲われた屋敷地跡、六地蔵遺跡では古墳時代中期から飛鳥時代にかけての集落跡・近世の廃棄土坑を検出した。併せて、各遺跡から当該期の遺物（土師器・陶磁器・瓦・金属製品・石製品）が出土。
5	617	西河原宮ノ内遺跡ほか	7,833.00	鎌倉時代から室町時代の溝、奈良時代の溝・柱穴・土坑を検出した。遺物は、鎌倉時代から室町時代の溝から土師器皿や陶器皿等が、奈良時代の溝からは須恵器・土師器が、奈良時代の柱穴からは木製品（簾串）が出土。
県土木交通部砂防課事業				
6	613	阿弥陀寺遺跡	1,966.71	室町時代の石垣や江戸時代の平坦面を検出したほか、当該期の山寺に関連する遺構も検出。また、土師器・陶磁器・瓦・金属製品・石製品も出土。
県農政水産部耕地課事業				
7	612	六地蔵遺跡	3,694.66	古墳時代中期頃の竪穴建物5基、時期不明の掘立柱建物を1基、古代から中世頃の溝等を多数確認。また、令和5年度に確認した古墳の周囲から、方墳を3基検出した。また、それらに伴い土器や石器・金属器・木製品等が出土。
8	626	上御殿遺跡	2,800.00	弥生時代後期の複数棟の竪穴建物跡や土坑を検出し、それらに伴い土器（弥生土器・土師器等）が出土。
市町関係事業				
9	620	笠原南遺跡（試掘）	8,272.00	事業用地造成に伴う試掘調査。1,600余箇所の試掘トレンチを設定し、遺構・遺物の有無を確認。調査の結果、遺構・遺物の存在が確認された箇所の一部については本発掘調査に移行（笠原南遺跡[その1]）。
10	623	横江遺跡（その3）	11,676.60	弥生時代中期の方形周溝墓や、古墳時代を中心とする溝・土坑・落込状地形等を検出。また、鎌倉時代の掘立柱建物群や区画溝・土坑等を検出。それらに伴い土器類（弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・陶磁器等）や木製品（板材・加工材）、石製品（石鎚・砥石等）、金属製品（銭貨・鉄釘等）が出土。
11	625	八町古墳	144.00	平安時代前期の掘立柱建物跡や小穴を検出し、それらに伴い土器（土師器・須恵器・灰釉陶器等）が出土。
12	627	笠原南遺跡（その1）	4,000.00	事業用地造成に伴う発掘調査。古墳時代から平安時代にかけての自然流路や、そこから派生する水路跡等を検出。流路等埋土内からは土器（須恵器・土師器・黒色土器）のほか木製品（杭・舟形・砧等）が出土。
13	650	横江遺跡（その2）	0.00	発掘調査は令和5年度に実施。6年度は調査にかかる事務作業のみ執行。
計			53,078.16	

2. 整理調査事業

No.	契約番号	遺跡名	発掘年度	報告書	検出されたおもな遺構と時期
国土交通省事業					
1	601	上砥山遺跡	H30～R2		飛鳥時代～奈良時代の河道や掘立柱建物等を確認。土師器・須恵器等の多量の土器や土馬、琴柱・馬鍬・豎杵・木皿・木錘等の木製品のほか、木簡や墨書き土器等の文字資料や硯も出土。
2	602	出庭遺跡・手原遺跡	H30・R1～4		古墳時代の豎穴建物（前期の鍛冶工房跡含む）・旧河道・掘立柱建物・井戸等を検出、それに伴い土師器・須恵器・韓式系土器等の土器や、鉄器・鍛冶滓・玉類・砥石等が出土。
3	603	佐和山城跡	H30・R1～4		佐和山城の内堀・土塁のほか、城下町に関連する橋台遺構・掘立柱建物・井戸・土坑等を検出。それに伴い16世紀後半の土器・陶磁器・木器・金属器・石造品等が出土。
4	604	塩津港遺跡	H24・26・27		平安時代後期から室町時代まで使われた港跡を検出。港は湖岸を埋め立て造成したもの。埋立区画は高密度杭列やシガラミ等で護岸され、水路や造成土内から土器・木製品・金属製品・骨角製品等が多数出土。
5	605	惣山・京ヶ山遺跡	R1・2	○	弥生時代後期の豎穴建物、古墳時代後期の横穴式石室等を検出。横穴式石室は出土遺物から、6世紀後半～7世紀初頭頃に築造。
県土木交通部道路整備課事業					
6	609	朽木陣屋跡	R4		江戸時代の朽木陣屋を構成する堀・道路（登城道）・石列を確認したほか、室町時代の土坑を確認。それに伴い、土師器・陶器・縄文土器等のほか、打製石斧等の石器類、銭貨等の金属製品が出土。
7	611	大門池南遺跡	R4・5	○	8世紀末～9世紀初頭の木棺墓もしくは火葬墓の可能性がある墓関連遺構を検出、隣接する東大寺領水沼荘と関わりのある地方官人の墓と想定。そのほか火葬遺構を検出、墓関連遺構からは土器（須恵器・土師器）ほか、石製丸鞘・銭貨（隆平永寶等）等が出土。
8	624	里西遺跡	R2～4	○	縄文時代～室町時代にかけての遺構・遺物を確認。特に、鎌倉時代から室町時代にかけての集落に関する遺構は密度高く分布し、掘立柱建物・土坑墓・井戸・溝・土坑等を検出。この他、弥生時代後期の多角形豎穴建物、飛鳥時代の溝、古代の掘立柱建物等も確認。
県土木交通部砂防課事業					
9	619	福林寺古墳群	R2・3・5		古墳の解体調査を実施した結果、福林寺3号墳は墳丘径約10mの円墳であることが判明した。墳丘盛土内から古墳時代後期の須恵器・土師器が、古墳築造後に墳丘上に堆積した土砂中からは中世の土師器がそれぞれ出土した。
県土木交通部流域政策局事業					
10	614	江頭南遺跡	R4・5		調査対象範囲にて、古墳時代中期後半～後期前半の築造とみられる墳丘を検出し、埴輪列が出土。墳丘の大半は河川の浸食により消失していたが、埴輪の配置状況から前方後円墳であったことが明らかとなった。
11	618	蜂屋遺跡	H28～R1		古墳時代前・中期の旧河道、平安時代末～鎌倉時代初頭の屋敷地を区画する溝、室町時代後期から安土桃山時代の井戸・土坑・河川、江戸時代中期の井戸・溝・土坑等、多数の遺構を検出。法隆寺式軒瓦等、奈良時代の「蜂屋廃寺」関連遺物も出土。
県農政水産部耕地課事業					
12	610	高野遺跡・六地蔵遺跡	H30～R5		古墳時代の豎穴建物、奈良時代～平安時代の掘立柱建物・東海道、平安時代の金属生産に関わる可能性のある炉状遺構のほか、溝・土坑・小穴が検出され、それに伴い土器類（土師器・須恵器・灰釉陶器・綠釉陶器・黒色土器・陶器・瓦）、石製品（砥石）、金属製品（刀子・釘・金属滓）が出土。
13	616	妙福寺遺跡	R4		弥生時代の川跡を複数検出し、それに伴い弥生土器や木製品等が出土。
市町関係事業					
14	621	横江遺跡（その1）	R5		調査区南側では古墳時代の掘立柱建物・溝を確認。また、同北側では、平安時代末期から鎌倉時代にかけての遺物を多量に含む谷状地形を確認。
15	622	横江遺跡（その2）	R5・6		古墳時代を中心とする掘立柱建物や自然流路および複数条の溝群や土坑等を検出。また、平安時代後期～鎌倉時代の掘立柱建物や溝、土坑墓等を検出。それに伴い土器（土師器・須恵器・黒色土器・陶磁器等）や木製品（農具等）、石製品（石鎚・砥石等）、金属製品（鉄鎚等）が出土した。

表4 令和6年度文化財関係調査受託事業一覧表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

契約番号	受託事業名	区分	原因者	契約額(税抜)	うち人件費	うち事務費
	(国土交通省関係)					
600	滋賀国道管内遺跡	整理	滋賀国道事務所	44,345,000	27,930,848	10,995,254
	1		小計	44,345,000	27,930,848	10,995,254
	(県土木交通部関係)					
606	四十九院遺跡	発掘	湖東土木事務所	6,317,000	1,691,038	1,288,228
607	長野遺跡	発掘	道路整備課	40,412,000	12,596,183	8,460,536
608	御館前遺跡	発掘	東近江土木事務所	36,574,000	11,613,029	7,730,876
609	朽木陣屋跡	整理	高島土木事務所	1,809,000	1,184,505	436,821
611	大門池南遺跡	整理	湖東土木事務所	7,007,000	4,431,876	1,743,727
613	阿弥陀寺遺跡	発掘	東近江土木事務所	43,602,000	15,497,932	9,325,171
614	江頭南遺跡	整理	東近江土木事務所	1,529,000	942,096	385,138
615	林遺跡ほか	発掘	道路整備課	71,733,000	18,999,090	15,302,101
617	西河原宮ノ内遺跡ほか	発掘	道路整備課	35,098,000	10,249,188	7,564,450
618	蜂屋遺跡	整理	南部土木事務所	5,281,000	3,592,997	1,330,597
619	福林寺古墳群	整理	南部土木事務所	1,386,000	969,155	341,553
624	里西遺跡	整理	大津土木事務所	42,264,000	26,160,058	10,257,385
	12		小計	293,012,000	107,927,147	64,166,583
	(県農政水産部関係)					
610	高野・六地蔵遺跡	整理	大津・南部農業農村振興事務所	13,629,000	8,398,222	3,106,163
612	六地蔵遺跡	発掘	大津・南部農業農村振興事務所	56,385,000	16,436,201	11,629,465
616	妙福寺遺跡	整理	湖東農業農村振興事務所	2,617,000	1,744,731	654,019
626	上御殿遺跡	発掘	高島農業農村振興事務所	30,272,000	9,042,193	6,324,548
	4		小計	102,903,000	35,621,347	21,714,195
	(市町等関係)					
620	笠原南遺跡（試掘）	試掘	守山市土地開発公社	16,937,000	7,337,101	4,229,545
621	横江遺跡その1	整理	守山市・(株)丸商	3,339,000	2,240,034	841,052
622	横江遺跡その2	整理	守山市・(株)GSユアサ	1,490,000	968,799	375,250
623	横江遺跡その3	発掘	守山市・(株)GSユアサ	60,298,000	14,698,369	10,238,766
625	八町古墳	発掘	豊郷町・関西電力送配電(株)	1,753,000	531,966	386,875
627	笠原南遺跡その1	発掘	守山市土地開発公社	38,189,000	12,334,150	8,284,189
650	横江遺跡その2	発掘	守山市・(株)GSユアサ	477,000	334,046	119,874
	7		小計	122,483,000	38,444,465	24,475,551
	24		合計	562,743,000	209,923,807	121,351,583

V. 保存活用事業

1. 保存処理業務

当協会が受託した整理調査事業において保存処理業務を行っている。木製品はポリエチレングリコール含浸法により里西遺跡（大津市 大津土木事務所事業）、出庭遺跡・手原遺跡（栗東市 国土交通省事業）の出土木製品の保存処理業務を行った。

金属製品は鋸落とし、パラロイドB-72含浸法により里西遺跡、朽木陣屋跡（高島市 高島市土木事務所事業）、大門池南遺跡（多賀町 湖東土木事務所事業）、高野・六地蔵遺跡（栗東市、大津南部農業農村振興事務所事業）の出土金属製品の保存処理を実施した。

2. 写真資料等の貸出および掲載許可等

書籍等への掲載のための写真資料等の貸出や掲載許可等の業務を行っている。今年度は写真資料の貸出は14件（掲載・転載を含む）であった。

VI. 「県立安土城考古博物館」「県立琵琶湖文化館」および「県埋蔵文化財センター」の管理運営事業

「県立安土城考古博物館」

1 展示事業

(1) 特別展

春季特別展「稀品・逸品—滋賀県出土の指定文化財を中心に—」

県内遺跡から出土した考古資料の中から、大岩山銅鐸や新開古墳出土品などの重要文化財、県指定文化財の相谷熊原遺跡出土品や大中の湖南遺跡出土品、市の指定文化財など滋賀県のみならず日本の歴史を考えるうえでも貴重な旧石器時代から近世の稀品・逸品を紹介した。

展覧会期：令和6年4月27日（土）～5月26日（日） 27日間

共 催：京都新聞

入館者数：2,829人

関連行事：春季特別展関連講座（全2回）

5月11日（土）「大岩山銅鐸と近江の弥生社会」 中止

講師：伊庭功氏（当館前学芸課長）

5月18日（土）「新開古墳にみる古墳時代の変化」 受講者 24人

講師：細川修平氏（滋賀県文化スポーツ部）

秋季特別展

リニューアル工事のため開催なし

(2) 企画展

リニューアル工事のため開催なし

(3) 考古常設展

考古資料を展示する第1常設展示室がリニューアル工事により閉鎖するため、その代替として企画展示室で考古資料を展示している。なお、第2常設展示室は従来の展示を行っている。

展覧会期：令和6年9月3日（火）～令和8年4月13日（日）

(4) 特別陳列・特別公開 (①・②・③：企画展示室、④・⑤：第2常設展示室、⑥：望楼下)

① 近江の遺跡発掘成果①「古代国家と鉄—近江国府跡青江遺跡の鍛冶工房—」

会期：令和6年9月26日（木）～10月31日（木）

内容：近江国の古代の鉄器生産に関連する青江遺跡出土資料を展示紹介した。

② 近江の遺跡発掘成果②「古代のお金」

会期：令和6年11月1日（金）～令和6年12月3日（火）

内容：県内出土の無文銀錢や皇朝十二錢を展示紹介した。

③ 近江の遺跡発掘成果③「中世のお金」

会期：令和6年12月4日（水）～令和7年2月4日（火）

内容：中国や朝鮮から輸入された、県内出土の渡来錢を展示紹介した。

④ 「信長とその息子たち」

会期：令和7年2月5日（水）～3月18日（火）

内容：館蔵資料の中から、信長の息子たちに関する資料を展示紹介した。

⑤ 令和6年度新収資料特別公開「中津井文書と柴田勝家」

会期：令和6年11月1日（金）～12月27日（金）

内容：今年度寄託を受けた柴田勝家の文書2通と、収蔵する勝家関係資料を展示紹介した。

⑥ 速報展示「再発見 明智光秀の寄進状！」

会期：令和7年1月7日（火）～2月4日（火）

内容：琵琶湖文化館の協力により、大津市の聖衆來迎寺で再発見された「明智光秀寄進状」を展示紹介した。

（5）でかける博物館 in 安土城考古博物館「地震と考古学 応神天皇陵古墳に見える地震災害の痕跡と後世の祭祀」

会期：令和7年1月25日（土）～2月24日（月・祝）

会場：企画展示室

内容：大阪府立近つ飛鳥博物館との連携企画で、近つ飛鳥博物館所蔵の応仁陵外堤出土の笠形木製品や河内名所図を展示紹介していただきました。

*当館は、近つ飛鳥博物館において、「でかける博物館 in 近つ飛鳥博物館「地震と考古学 湖底遺跡と地震跡」（会期：令和7年1月18日（土）～2月16日（日））を実施し、針江浜遺跡出土の土器、鳥形木製品、噴砂剥ぎ取りを展示紹介した。

2 講座事業

（1）連続講座I「古代国家と近江の鉄」全4回

発掘調査に携わる専門職員が、最新の調査・研究成果をもとに古代国家を支えた近江の鉄生産について解説した。

第1回 9月28日（土）「『古代国家と近江の鉄』キックオフ講座」

講師：大道和人（当館学芸員） 受講者 66人

第2回 10月 5日（土）「前方後円墳体制と栗太の鉄」

受講者 44人

講師：近藤広氏（栗東市スポーツ協会文化財調査課）

第3回 10月12日（土）「繼体大王・藤原氏と高島の鉄」

受講者 64人

講師：宮崎雅充氏（高島市商工観光部観光課）

第4回 10月19日（土）「藤原仲麻呂政権と近江の鉄」受講者 59人

講師：山崎公輔氏（大津市市民部文化財保護課）

（2）連続講座Ⅱ「お金で綴る近江の歴史」（全4回）

発掘調査に携わる専門職員が、最新の調査・研究成果をもとに日本の古代から中世のお金の歴史や文化を解説した。

第1回 11月 2日（土）「無文銀銭とは何か—貨幣の誕生ー」受講者 12人
講師：内田保之（当協会）

第2回 11月10日（日）「近江の古代銭」受講者 16人
講師：辻川哲朗（当協会）

第3回 11月24日（日）「滋賀県の銭と祭祀」受講者 14人
講師：森田真由香（当協会）

第4回 12月 8日（日）「近江の渡来銭」受講者 14人
講師：小島孝修（当協会）

（3）連続講座Ⅲ「信長家臣たちの苦闘」（全3回）

織田信長の天下布武の過程において、その家臣たちが果たした役割、戦略や人間関係などを解説した。

講師：太田浩司氏（淡海歴史文化研究所所長）

第1回 12月21日（土）「羽柴秀吉・秀長の中国攻め」受講者 73人

第2回 1月11日（土）「明智光秀の丹波攻め」受講者 62人

第3回 2月22日（土）「信長家臣団の破綻～山崎合戦から賤ヶ岳合戦への道～」受講者 34人

3 体験学習・ワークショップ等

（1）史跡探訪・城郭探訪

近江風土記の丘の史跡を活用して、特別史跡安土城跡や、史跡観音寺城跡と桑實寺を案内・解説した。

- ・城郭探訪「安土城跡」① 5月12日（日） 参加者 4人
- ・城郭探訪「観音寺城跡と桑實寺」① 5月19日（日） 参加者 11人
- ・城郭探訪「安土城跡」② 5月25日（土） 参加者 3人
- ・城郭探訪「安土城跡」③ 10月 6日（日） 参加者 6人
- ・城郭探訪「観音寺城跡と桑實寺」② 10月20日（日） 参加者 4人

（2）家族で楽しむ！秋の体験博物館「勾玉作り体験」

10月13日（日）・14日（月・祝） 参加者 64人

相乗効果を高めるために、当協会開催の「あの遺跡は今」と同時開催した。

4 その他の事業

(1) 京都新聞との春季特別展共同開催

春季特別展の共同開催をはじめ、逐次広報をするなど誘客を図った。

(2) 岐阜県イベントへのブース出展

10月19日（土）・20日（日）に開催された「大関ヶ原祭り2024」（累計入場者数約8万人）に出展し、当館広報物を配布してPRを行い、誘客を図った。

(3) 岐阜関ヶ原古戦場記念館へのブース出展

11月8日（金）から令和7年3月30日（日）まで、当館をPRし誘客を図るために、岐阜関ヶ原古戦場記念館のエントランスホールに出展し、ポスター掲示、チラシ配架、映像放映を行った。

(4) 市町主催講座等への出講

東近江市生涯学習講座ライフロング「歴史講座」等、26講座に講師として出講した。

5 博学連携事業

(1) 学校支援活動

学校の来館学習における体験学習メニュー（火起こし、土器に触れよう、勾玉作り）を実施したほか、職場体験の受け入れを行った。

日 時	学校名	人 数	引 率	内 容
5月 8日(水)	大阪大学考古学研究室	27人	5人	展示見学・解説
5月 9日(木)	安土中学校1年生	110人	11人	展示見学
5月10日(金)	武佐小学校6年生	29人	4人	展示見学・火起こし
5月12日(日)	奈良大学	21人	—	展示見学
5月16日(木)	老蘇小学校6年生	22人	2人	展示見学・火起こし
5月18日(土)	同志社大学神学部	7人	—	展示見学
5月24日(金)	草津小学校6年生	91人	6人	展示見学・火起こし・土器に触れよう
5月24日(金)	レイカディア大学	11人	—	展示見学・解説
9月12日(木)	武藏野大学	9人	1人	展示見学
10月 9日(水)	愛知川東小学校6年生	60人	4人	展示見学
10月17日(木)	中主小学校6年生	32人	2人	展示見学・勾玉作り・土器に触れよう
10月18日(金)	桐原東小学校6年生	63人	5人	展示見学・勾玉作り・土器に触れよう
10月18日(金)	島小学校6年生	17人	4人	展示見学
10月22日(火)	中主小学校6年生	33人	2人	展示見学・勾玉作り・土器に触れよう
10月25日(金)	湖東第二小学校6年生	19人	2人	展示見学・土器に触れよう
10月26日(土)	国際情報高校2年生	1人	1人	展示見学・解説・取材
10月29日(火) ～31日(木)	能登川中学校2年生	5人	—	職場体験
10月31日(木)	甲南第3小学校6年生	9人	2人	展示見学・火起こし
11月 1日(金)	中主小学校6年生	32人	2人	展示見学・勾玉作り・土器に触れよう
1月21日(火)	八日市南小学校6年生	83人	5人	展示見学・火起こし・土器に触れよう
2月 7日(水)	八日市北小学校6年生	76人	6人	展示見学・火起こし・土器に触れよう

21校 757人 64人

(2) 博物館実習生の受け入れ

日 程：令和6年8月26日（月）から8月30日（金）までの5日間

実習生：11名（滋賀県立大学3名、京都文教大学1名、京都橘大学2名、大谷大学1名、追手門学院大学2名、大阪市立大学1名、山口大学1名）

(3) 滋賀県立大学のカリキュラム科目「博物館資料保存論」における実習受け入れ

日 程：令和7年1月8日（木）

実習生：30名

(4) 県小学校長会役員研修会への会場提供

日程：令和6年11月26日（火） 15名

今後の学校の来館学習に資するため、展示や体験学習について説明等を行った。

(5) 自閉症支援のための実践セミナー（滋賀県発達障害者支援センター主催）への会場提供

日程：令和7年2月26日（水）・27日（木）

発達障害の方の来館学習に資するため、滋賀県発達障害者支援センターが主催するセミナーに会場（会議室、セミナールーム）を提供した。

6 リニューアル後の博物館

県が実施する展示リニューアルについて県と連携し、リニューアル後の博物館の運営等の検討、準備を行った。

また、リニューアルに併せ、シアターの予約システムをはじめ掲載内容を見やすくするため、ホームページを改修した。

7 年間入館者数

区分	令和5年度（人）	令和6年度（人）
個人	17,364	10,115
団体※	22,178	10,496
総数	39,542	20,611
うち、高齢者・身障者等	6,046	3,433

（※欄は20人以上の団体料金適用の人数）

「県立琵琶湖文化館」

1. 施設の管理

(1) 施設設備の小修繕

日常的な管理を行うとともに、県の点検マニュアルに基づいた施設点検を実施し、結果を県に報告した。また、必要に応じて小修繕を行う等、適切な維持管理に努め、周辺の美化にも尽力した。

修繕箇所) 防火シャッターの不良器具改修、下水道修繕、給水管保温材修繕、水草等流入抑止オイルフェンス・ネットの補修、非常照明バッテリー交換、屋外トイレ修繕等

(2) 各種法定点検の実施

施設設備について、業者委託による定期的な保守点検を実施した。

- ・建築基準法 12 条に基づく点検（建築設備・防火設備）
- ・消防法に基づく消防設備点検（機器点検・総合点検）
- ・電気事業法に基づく高圧受電設備点検（保守点検・停電保守点検）
- ・フロン排出抑制法に基づく第 1 種特定製品点検（職員による簡易点検）

(3) 収蔵品の管理

収蔵品の管理については、県（学芸員）からの指示を受けて必要とされる業者の手配および支出行為等を行った。収蔵庫においては、年間を通じて文化財害虫や空中菌の生息状況のモニタリング、計画的な燻蒸を実施し、新規寄託文化財の密閉テント式燻蒸を行う等、適切な収蔵環境の維持に努めた。また、必要に応じて収蔵品の小修繕を行い、寄贈図書のデータ登録・整理等を行った。

収蔵品小修繕) 寄託品 2 件、館蔵品 1 件

2. 展覧会事業

(1) 琵琶湖文化館地域連携企画展

県内の 2 地域と連携し展示公開を行う地域連携企画展を開催し、リーフレットやパネルを作成する等、開催支援を行ったほか、準備・開催にかかる業者の手配および支出行為等を行った。

① 「幕末を生きた人々の残像～公文書に残る直筆書簡～」

令和 5 年 9 月、琵琶湖文化館に、明治維新の功労者である西郷隆盛の直筆書簡が寄託された。長らくこの書簡は原本の所在が不明とされていたが、寄託に際しての再調査により、その原本であることが約 100 年ぶりに明らかとなった。本展では、この貴重な書簡を特別に公開し、併せて県指定有形文化財である滋賀県行政文書等を展示し、日本近代史と滋賀県の関係について紹介した。

会 期 令和 6 年 5 月 27 日（月）～9 月 26 日（木）

会 場 滋賀県立公文書館（大津市）

主 催 滋賀県立琵琶湖文化館・滋賀県立公文書館

入場者数 591人

②「滋賀限定！近江ゆかりの書画－古写経から近代の書まで－」

琵琶湖文化館収蔵品を中心に、東近江地域ゆかりの墨蹟・仏画、奈良・平安時代の古写経、江戸時代以降の書の作品を一堂に展覧。日本屈指の書の博物館で、滋賀県や東近江地域の文化財に新たな光を当てた展覧会となった。

会 期 令和6年9月21日（土）～11月24日（日）

会 場 公益財団法人日本習字教育財団 観峰館（東近江市）

主 催 滋賀県立琵琶湖文化館・公益財団法人日本習字教育財団 観峰館

後 援 東近江市・京都新聞・中日新聞社・読売新聞大津支局・毎日新聞大津支局・NHK大津放送局

入場者数 1,276人

関連事業 土曜講座「近江ゆかりの書跡を探る①－雲居希膺－」

9月28日（土） 参加者12名

土曜講座「近江ゆかりの書跡を探る②－副島種臣－」

11月23日（土） 参加者7名

ギャラリートーク＆ミニセッション

10月13日（日） 参加者15名

習字の日 記念講演会「東近江地域文化財の将来」

10月27日（日） 参加者15名

滋賀の文化財講座「花湖さんの打出のコヅチ」解説付鑑賞会

11月13日（水） 参加者24名

3. 普及啓発事業

（1）滋賀の文化財講座「花湖さんの打出のコヅチ」全7回

滋賀の文化財にまつわる最新情報を県民に向けて積極的に発信する「滋賀の文化財講座」を開催した。ネーミングライツパートナーに株式会社国華荘（おごと温泉：びわ湖花街道）の協力を得て、6回の座学と地域連携企画展の会場である観峰館において特別鑑賞会を実施した。オンライン配信のサテライト会場では、新たな試みとして、[第1回] 県外のサテライト会場と初の連携、[第5回] 県内商業施設において初のサテライト配信を実施した。

主 催 滋賀県文化スポーツ部文化財保護課・滋賀県立琵琶湖文化館

後 援 滋賀県文化財保護連盟・公益社団法人びわこビジターズビューロー・公益財団法人滋賀県文化財保護協会

座学メイン会場 コラボしが21（大津市打出浜2-1）3階大会議室

第1回 5月22日（水）

「再発見した西郷隆盛書簡とその伝来—アメリカから滋賀へ—」

講師 井上 優 (滋賀県文化財保護課・琵琶湖文化館)

第2回 6月19日(木)

「目からウロコの仏像の基本」

講師 和澄浩介 (滋賀県文化財保護課・琵琶湖文化館)

第3回 7月17日(水)

「文化財保存のしごとー「地域文化財のサポートセンター」実現に向けて」

講師 武内里水 (滋賀県文化財保護課・琵琶湖文化館)

第4回 8月20日(火)

「隈研吾建築と滋賀県」

講師 田澤 梓 (滋賀県文化財保護課・琵琶湖文化館)

第5回 9月18日(水)

「建造物文化財修理の最前線—国宝延暦寺根本中堂・重文不動寺本堂を中心にー」

講師 福吉直樹・長谷川聰子・坪田叡伴 (滋賀県文化財保護課)

第6回 10月23日(水)

「中世絵画の山水表現」

講師 萬年香奈子 (滋賀県文化財保護課・琵琶湖文化館)

第7回 【解説付き鑑賞会】 11月13日(水)

「地域連携企画展「滋賀限定！近江ゆかりの書画」を楽しむ」

講師 井上 優 (滋賀県文化財保護課・琵琶湖文化館)

寺前公基氏 (観峰館)

<講座参加人数>

【主催】	定員	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
メイン会場	(200)	102人	154人	98人	103人	125人	95人	—
サテライト会場	(50)	—	—	—	—	6人	—	—
解説付鑑賞会	(40)	—	—	—	—	—	—	24人

小計 707人

サテライト会場		定員	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
鹿児島市	維新ふるさと館	(—)	19人	—	—	—	—	—
彦根市	稲枝地区公民館	(15)	14人	15人	11人	13人	13人	10人
長浜市	曳山博物館 伝承スタジオ	(30)	—	8人	3人	4人	4人	4人
湖南市	共同福祉施設サンライク甲西	(20)	—	—	4人	9人	12人	3人
計			33人	23人	18人	26人	29人	17人

小計 146人

[合計 853人]

(2) 研究紀要の発刊

学芸員の調査研究成果の発表および当該年度の活動実績報告（年報）として「研究紀要第41号」を発刊した。

4. 情報発信事業

(1) ウェブサイトの充実

- ・琵琶湖文化館の活動や県内の文化財に関する情報等を紹介するコンテンツを随時更新し、県民サービスの向上を図った。
- ・「収蔵品紹介」や、収蔵品の他館への貸し出し状況がわかる「収蔵品公開情報」を積極的に発信することで、休館中の琵琶湖文化館の作品に親しめる機会となるよう努めた。
- ・新文化館建設に向けての機運醸成を図る県の取り組み等を紹介した。

(2) 埋文センター等での情報発信

ホームページの更新にあわせて屋外掲示板に情報を見やすく掲示し、近隣住民の方に活動をPRしたほか、埋文センターにおいても印刷物を掲示するなど情報の発信に努めた。

(3) 報道機関への資料提供等

報道関係機関等に対し、適宜情報提供を行った。

(4) 各種問い合わせへの対応・保存支援

一般からの電話や来館等の問い合わせに対し、適切に対応した。

「県埋蔵文化財センター」

1. 埋蔵文化財の遺物および資料の収藏・保管

(1) 出土遺物、資料の受け入れ

当協会が実施した整理調査で報告書が刊行された里西遺跡など 3 遺跡の出土遺物、図面資料、写真資料を受け入れ、収納した。収納資料は土器 129 箱、石器 5 箱、木製品 10 箱、金属器 4 箱、その他 2 箱で合計 150 箱である。図面資料はファイル 3 冊、遺物実測図（鉄器・木器）321 枚成果簿等 3 冊、プレパラート（樹種同定）3 箱、写真資料はアルバム 4 冊、デジタル写真データ 3 組である。

(2) 資料の貸出等

①資料の貸出

博物館や資料館の展示等に資料の貸出を実施している。今年度は、24 件の貸出を実施した。

②資料調査の受入

出土資料活用の一環として、学術研究等の目的のための資料調査の申し出を受け入れている。今年度は 32 件の個人・団体を受け入れた。

③写真資料等の貸出および掲載許可等

書籍等への掲載のための写真・図面資料等の貸出や掲載許可等の業務を行っている。今年度は写真資料の貸出は 79 件（掲載・転載・撮影等を含む）であった。

(3) 図書整理

①図書資料の受入

県外等から発掘調査報告書、年報、紀要、一般図書等 961 冊の寄贈を受けた。

受け入れ図書は県外報告書を除き登録番号を添付し、書庫に保存した。また、書名、発行所、登録番号等のデータを入力し保存し、資料の検索や在庫の問い合わせに対応した。

②図書資料の閲覧

埋蔵文化財関係者や研究者、学生、一般にも書庫を開放し、図書資料の閲覧を行えるようにしている。今年度には延べ 34 人の閲覧があった。

2. 展示事業

(1) ロビー展示

1 階ロビーにおいて常設展示を行い、一般公開し、埋蔵文化財に対する知識の普及啓発に努めた。

ア. 「おうみの壺にはまる—壺・壺・つぼ・ツボ大集合—」・「土偶にはまる」

令和 6 年度上半期は令和 5 年度下半期から継続して「おうみの壺にはまる—壺・壺・つぼ・ツボ大集合—」・「土偶にはまる」をテーマに滋賀県出土の壺

や土偶をテーマに出土遺物や写真パネル、文字パネル等を用いて紹介を行った。

イ. 「収蔵品展」

「レトロとレトロ展覧会」に併せて7月22日から8月30日の会期で「収蔵品展」を行い、井ノ口中川原遺跡、針江川北遺跡ほかの遺跡から出土遺物のほか写真パネル、イラスト、文字パネル等を用いて紹介を行った。

ウ. 「湖国近江の自然災害と人々」

令和6年度下半期は9月24日より「湖国近江の自然災害と人々の活動」と題して、滋賀県における地震を中心とした自然災害について写真パネル、文字パネル等を用いて紹介を行った。

(2) JR湖西線大津京駅構内での文化財関連展示

JR大津京駅構内の展示場で、埋蔵文化財保護の普及・啓発を目的とした展示を4回実施した。

① 「史跡でみる縄文時代から古代の遺跡－植遺跡－」

国指定史跡朽木陣屋跡について遺物とパネルを展示。（～5月）

② 「史跡でみる縄文時代から古代の遺跡－朽木陣屋跡－」

国指定史跡朽木陣屋跡について遺物とパネルを展示。（6月～9月）

③ 「史跡でみる縄文時代から古代の遺跡－禾津頓宮跡－」

国指定史跡朽木陣屋跡について遺物とパネルを展示。（10月～1月）

④ 「史跡でみる縄文時代から古代の遺跡－穴太廐寺跡－」

国指定史跡穴太廐寺跡について遺物とパネルを展示。（2月～）

3. 普及啓発事業

(1) 収蔵品を活用した普及・啓発事業

県内小・中学校等の学校教育の一環として実施される職場体験等の要請を積極的に受け入れ、展示見学や出土品を通しての学習、鍛冶体験等の体験学習を実施した。史跡近江国庁跡の現地を案内するとともに、出土品を使った出前授業なども行った。学校教育と同じように一般からの要請も積極的に受け入れ、出土品を用いた出前講座等も行った。また、「みどりのつどい」、「文化ゾーンフェスティバル」等のイベントに併せて埋蔵文化財センターの一般公開等文化財の普及に努めた。

普及事業は学校教育関係が出前授業4校、職場体験5校、展示見学・体験学習2校、一般関係が出前講座1団体、施設案内・展示見学3団体、イベント4回を行った。また、体験学習事業として、夏を中心に小学生から一般を対象に古代の染め物体験・勾玉つくり体験、鋳造体験、鍛冶体験を4回実施し、131人が参加した。普及事業の参加者総数は1,202人であった。

(2) ホームページの活用

埋蔵文化財センター開催の「ロビー展示」や「大津京駅構内展示」等行事を随時紹介し、埋蔵文化財センターで実施した体験学習などの成果を公開し、広報に努めた。また、各種申請用紙を掲載し業務の省力化に努めた。

(3) 執筆・編集関係

『埋もれた文化財の話 45』の編集

ロビー展示の解説をかねて「湖国近江の自然災害と人々の活動」をテーマに滋賀県に自然災害と人々の活動についてまとめ、執筆・編集した。

(4) びわこ文化公園3館連携事業関係

①県立美術館・県立図書館と共同した連携講演会等の開催

2月1日に講演会「仕事の舞台裏：資料を見せる・記録を撮る・展示の魅力」を美術館で開催した（参加者44名）。

②連携ミニ展示の実施

2月1日から2月28日の会期で埋蔵文化財センターのロビーにて「埋蔵文化財における遺物の記録写真」写真パネルと文字パネルを用いて実施した。

4. 施設の維持管理

(1) 庁舎維持管理委託業務

埋蔵文化財センターの施設の維持管理に関して、防災点検、水質点検、建物点検等12項目の定期点検業務を委託して実施した。また、熱源発生装置表示ブロック交換工事、一口ガスコンロ取替工事、トイレの配管のつまり解消工事、第2収蔵庫シャッターモーター改修工事、館内漏水調査、膨張水槽ボールタップ交換工事の業務を行った。

(2) 収蔵庫・収納品点検

出土遺物を収納している3ヶ所の収蔵庫（湖西線収蔵庫、大石収蔵庫、早崎収蔵庫）を維持管理している。月に1回の点検を行い、資料の収蔵状況、収蔵庫の外壁や屋根等の損傷、雨漏り、害虫、施錠の状態等を確認した。早崎収蔵庫と大石収蔵庫は6月と10月に敷地内の除草、および消防設備点検を行った。

大石収蔵庫では3月に2階建て収蔵庫の出入口のアルミ部分が壊され、何者かによる侵入があった。警察に通報し、県文化財保護課職員とともに現場検証に立ち合い、建物侵入の被害届を警察に提出し、破損箇所は応急処置を行った。

5. 施設の利用

今年度の入館者総数は 2,452 人であった。団体見学等の申し込みは、主に施設

見学等の一般の団体である。

VII. 文化財保護資金貸付事業および文化財活用資金貸付事業

(1) 貸付審査会

第1回 令和6年 8月26日(月)

第2回 令和7年 1月29日(水)

(2) 文化財保護資金貸付事業実績

貸付先	市町名	貸付金額(円)	対象事業	文化財の名称
森 基樹	彦根市	10,000,000	重要伝統的建造物群保存地区 彦根市河原町芹町地区 森家 住宅主屋修理事業	重要伝統的建造物群保存地区 彦根市河原町芹町地区 森家 住宅主屋
宗教法人小田神社 代表役員 宮司 神山 国麿	近江八 幡市	7,800,000	重要文化財小田神社楼門建造 物保存修理事業	重要文化財小田神社楼門
計		17,800,000		

(3) 文化財活用資金貸付事業実績

なし

(4) 総貸付件数(累計)

- | | | |
|----------|---------|------|
| ・文化財保護資金 | 令和7年3月末 | 369件 |
| ・文化財活用資金 | 令和7年3月末 | 2件 |

(5) 貸付残高

- | | | |
|----------|---------|-------------|
| ・文化財保護資金 | 令和7年3月末 | 48,755,500円 |
| ・文化財活用資金 | 令和6年3月末 | 0円 |

